

## 船井電機株式会社

2008年3月期 決算説明会

2008年5月13日(火)

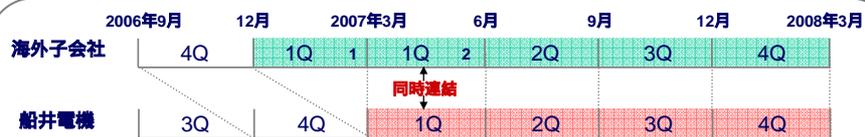
## 決算の概要 (連結)

- 1 連結実績 (前期比較)
- 2 決算概要
- 3 機器別売上高
- 4 映像機器の売上高
- 5 DVD 関連機器の売上高
- 6 テレビ関連機器の売上高
- 7 情報機器の売上高
- 8 地域別売上高
- 9 財務の状況
- 10 棚卸資産
- 11 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 12 今期(2009年3月期の予想)

## 1 連結実績 (前期比較)

### (1) グループ会社の決算期統一について

2008年3月期において、海外子会社の決算日(12月31日)を親会社である船井電機の決算日(3月31日)に統一した



海外子会社の1Q(2007年1～6月)について

1. 従来の1Q(2007年1～3月)の3ヶ月間については連結決算の損益には反映させず、連結株主資本等変動計算書の剰余金において調整
2. 2007年4～6月から同時連結

### (2) 前期(2006年4月～2007年3月)の比較数値について

前期実績は決算期統一前の為、期ずれが発生(海外子会社は1～12月の実績数値)

そのために決算期統一ベース(海外子会社は2006年4月～2007年3月の実績数値を使用)に修正の上比較



3

## 2 決算概要

(単位: 億円)

	前期実績	前期実績 (決算期統一)	当期実績	前年同期比 増減率	前年同期比 (決算期統一) 増減率
	金額	金額	金額		
売上高	3,967	3,958	2,771	30.1%	30.0%
営業利益	207	187	24	-	-
営業利益率	(5.2%)	(4.7%)	(0.9%)	+24 (1)	
経常利益	265	246	0	-	-
経常利益率	(6.7%)	(6.2%)	(0.0%)		
(子会社配当実施前) 当期純利益	36	48	1	-	-
当期純利益率	(0.9%)	(1.2%)	(0.1%)	53 (2)	
当期純利益	36	48	53	-	-
当期純利益率	(0.9%)	(1.2%)	(1.9%)		
期中平均レート (対米ドル)	116. <sup>95</sup> 円	116. <sup>95</sup> 円	113. <sup>80</sup> 円		

(1) 受取利息+52、為替差損 20、その他 8

(2) 投資有価証券売却益+56、配当に対する税金 55、海外子会社繰延税金資産取崩 22、マレーシア解散に伴う特別損失 12、その他 20



4

### 3 機器別売上高



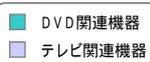
#### 前年同期間比較

映像機器	: 910億円 ( 33.1%)
情報機器	: 283億円 ( 30.3%)
その他	: +6億円 ( +2.2%)
合計	: 1,187億円 ( 30.0%)



5

### 4 映像機器の売上高



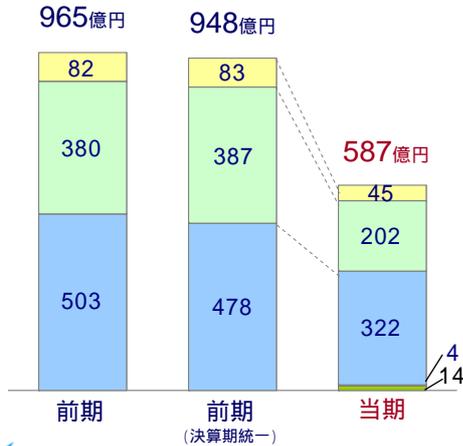
#### 前年同期間比較

DVD関連機器	: 361億円 ( 38.1%)
テレビ関連機器	: 549億円 ( 30.4%)
合計	: 910億円 ( 33.1%)



6

## 5 DVD関連機器の売上高



### ビデオ

・市場縮小により引き続き減少

### DVDプレーヤ関連

### DVDレコーダ関連

・主要市場である米国の市場成長が止まったことにより大幅減

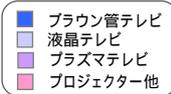
### 前年同期間比較

ビデオ	: 38億円 ( 45.8%)
DVDレコーダ関連	: 185億円 ( 47.8%)
DVDプレーヤ関連	: 156億円 ( 32.6%)
ブルーレイディスクプレーヤ	: +4億円 ( - )
デジタルSTB	: +14億円 ( - )
<b>合計</b>	<b>: 361億円 ( 38.1%)</b>

FUNAI

7

## 6 テレビ関連機器の売上高



### ブラウン管テレビ

・市場縮小により大幅減

### 液晶テレビ

・DVD複合製品が寄与したことで増加

### プラズマテレビ

・市場撤退

### プロジェクター他

・OEM先販売不振

### 前年同期間比較

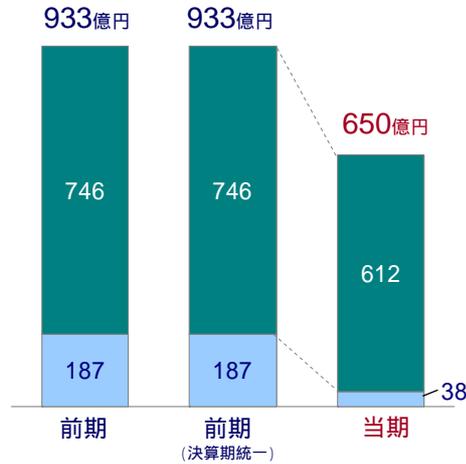
ブラウン管テレビ	: 552億円 ( 68.3%)
液晶テレビ	: +122億円 ( +15.7%)
プラズマテレビ	: 75億円 ( 9.4%)
プロジェクター他	: 44億円 ( 30.8%)
<b>合計</b>	<b>: 549億円 ( 30.4%)</b>

FUNAI

8

## 7 情報機器の売上高

- プリンター
- デジタルスチルカメラ



### プリンター

・OEM先の商品戦略の変更により減少

### デジタルスチルカメラ

・OEM先メインベンダーの採用により減少

### 前年同期間比較

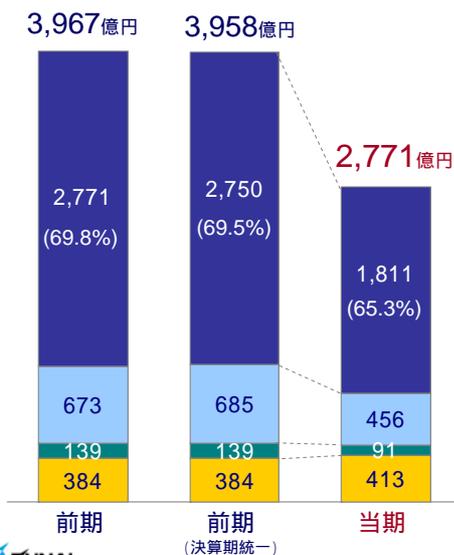
プリンター	: 134億円 ( 18.0%)
デジタルスチルカメラ	: 149億円 ( 79.7%)
合計	: 283億円 ( 30.3%)



同機器はすべて当社単体の売上計上のため、決算期統一による影響はありません。

9

## 8 地域別売上高



### 北米

・ブラウン管テレビ、DVD共に市場縮小により減少

### 欧州

・拡大路線より黒字化を優先したため減少

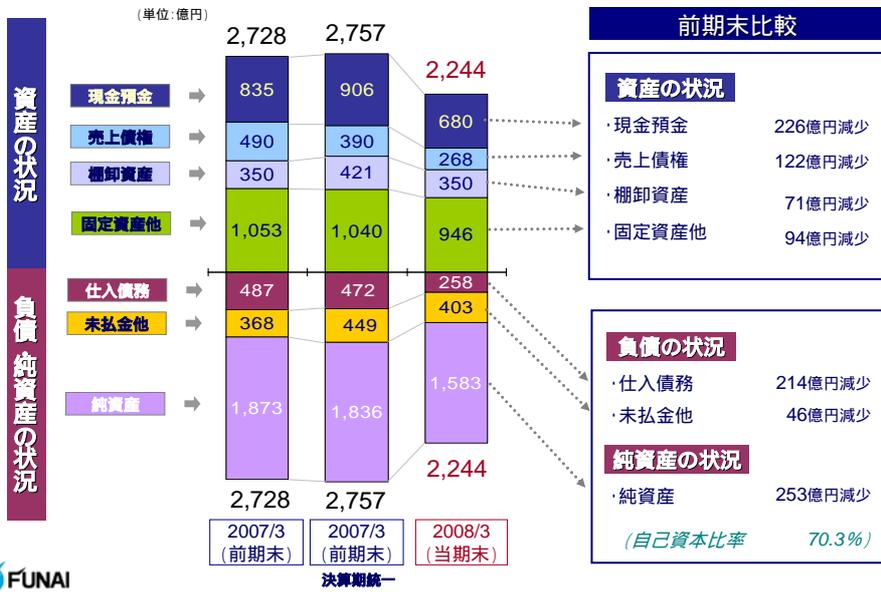
### 前年同期間比較

北米	: 939億円 ( 34.1%)
欧州	: 229億円 ( 33.4%)
アジア他	: 48億円 ( 34.5%)
日本	: +29億円 ( +7.6%)
合計	: 1,187億円 ( 30.0%)



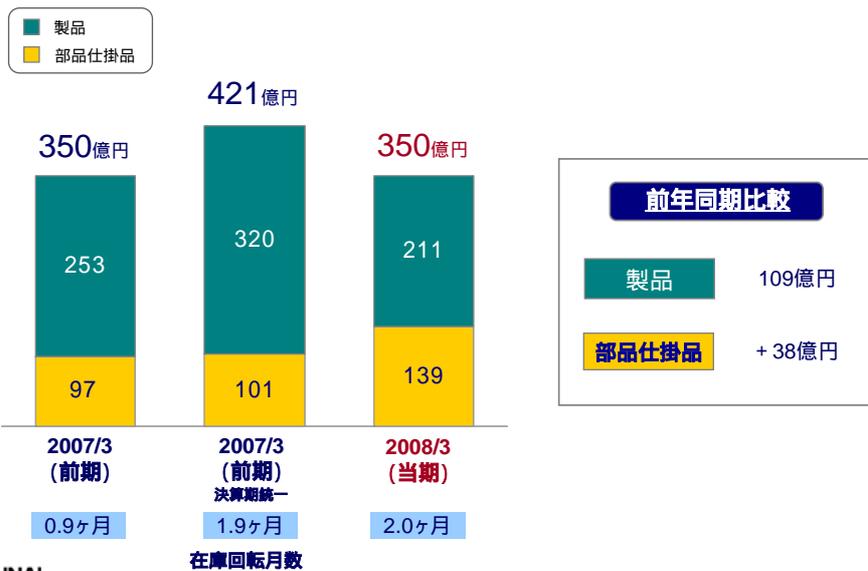
10

## 9 財務の状況



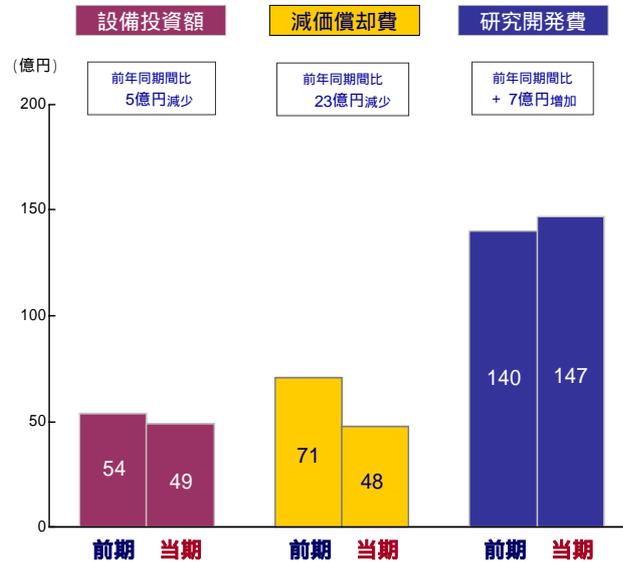
11

## 10 棚卸資産



12

## 11 設備投資額・減価償却費・研究開発費



## 12 今期 (2009年3月期) の予想

(単位: 億円)

	2008年3月期実績			2009年3月期予想			実績比 増減率
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
売上高	1,563	1,208	2,771	1,440	1,960	3,400	+22.7%
営業利益	20	44	24	33	27	60	-
営業利益率	(1.3%)	( 3.6%)	( 0.9%)	(2.3%)	(1.4%)	(1.8%)	
経常利益	50	50	0	43	37	80	-
経常利益率	(3.2%)	( 4.1%)	( 0.0%)	(3.0%)	(1.9%)	(2.4%)	
当期純利益	42	11	53	33	25	58	-
当期純利益率	( 2.7%)	( 0.9%)	( 1.9%)	(2.3%)	(1.3%)	(1.7%)	
期中平均レート (対米ドル)	119. <sup>19</sup> 円	108. <sup>40</sup> 円	113. <sup>80</sup> 円	100. <sup>00</sup> 円			

(参考) 機器別の売上高内訳

(単位: 億円)

	2008年3月期 実績	2009年3月期 予想	実績比
映像機器	1,841	2,549	+708
情報機器	650	562	-88
その他	280	289	+9
合計	2,771	3,400	+629

## 今後の事業戦略

- 1 経営方針
- 2 経営方針
- 3 今期(2009年3月期)の展望と施策
- 4 今期(2009年3月期)の展望と施策
- 5 中期目標と施策
- 6 中期目標と施策
- 7 中期目標と施策

## 1 経営方針

### 赤字からの脱却

前期の問題点

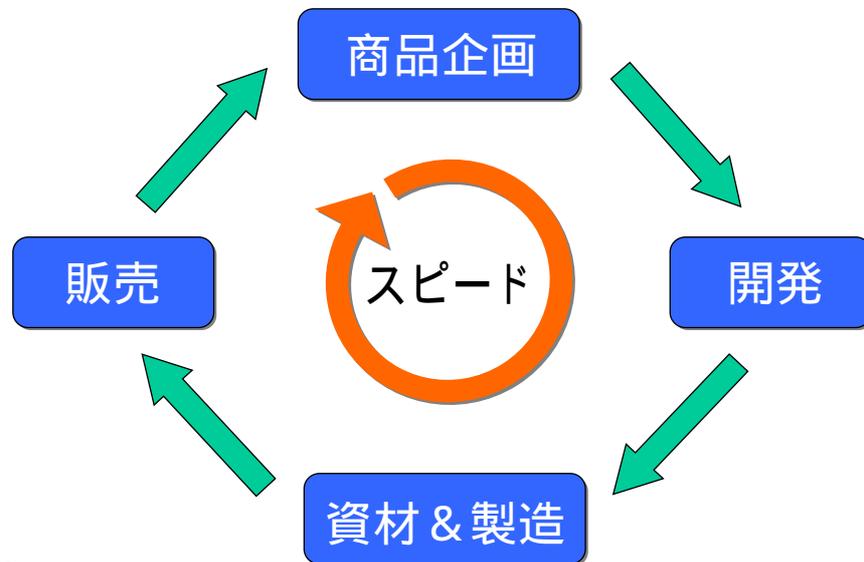
テレビ事業の赤字

方針

売れる商品作りに徹する

- 経営資源(人・モノ・金)の最適配分
- 基本重視及びスピードを意識した経営を図る

## 2 経営方針



## 3 今期(2009年3月期)展望と施策

**次の飛躍に備え基盤固めの重要な一年**

新たな成長エンジンと付加価値の創出

### 1 アライアンスの立上げ・拡充

- フィリップスとマグナボックスの両ブランド投入によるラインアップ充実で液晶テレビの販売力強化
- 日本ビクターとの相互生産・開発の本格化
- プリンターの新たなOEMスタート

### 2 新規有望商品の拡充

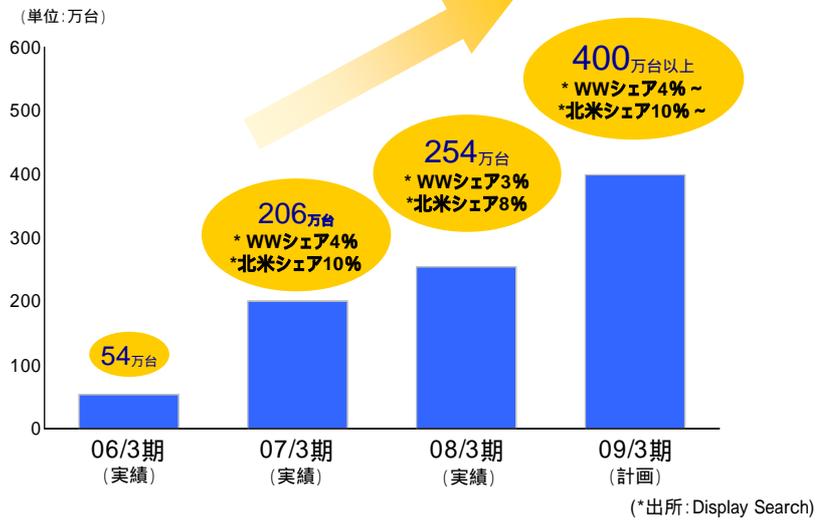
- ブルーレイディスク関連商品の拡販

### 3 人材育成

- 国際展開で活躍できる人材育成
- 高度な技術力(特にソフト)を支える更なる人材育成

## 4 今期(2009年3月期)展望と施策

### 液晶テレビ販売台数



## 5 中期目標と施策

### 1 2011年3月期(3年後)の目標

連結売上高: **5,000億円**  
連結営業利益: **250億円** (営業利益率 5%)

### 2 アライアンスの推進・拡大・深耕

フィリップス、日本ビクターとの提携メリットの最大化

### 3 ブルーレイディスクのラインアップ拡充

プレーヤ、レコーダ、コンビネーション製品

## 6 中期目標と施策

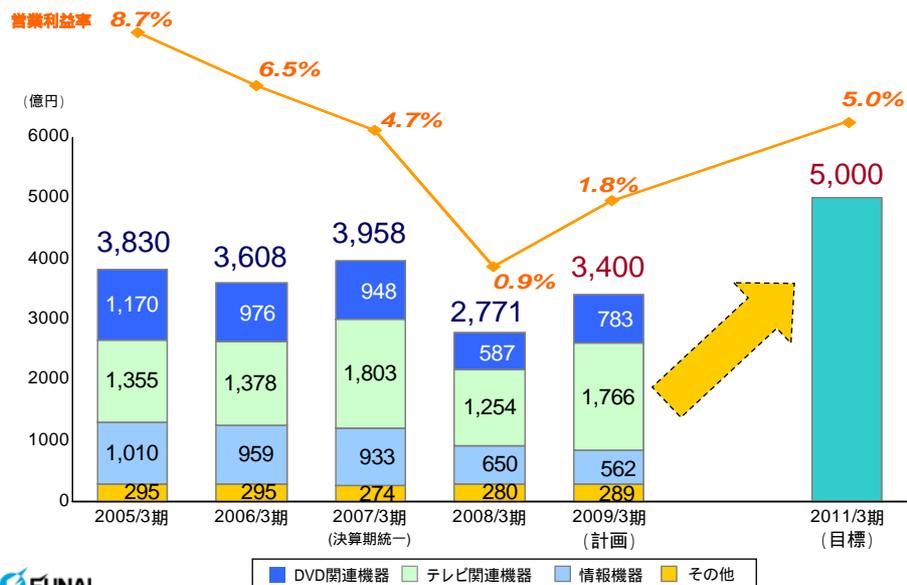
### 4 新規顧客開拓と新規事業の展開

新たなOEM先と販路の獲得  
ネットワーク関連商品の開発、投入

### 5 一極集中の見直し(市場・製造拠点)

欧州・BRICs市場への拡販  
最適地生産の模索

## 7 中期目標と施策



## 補足資料

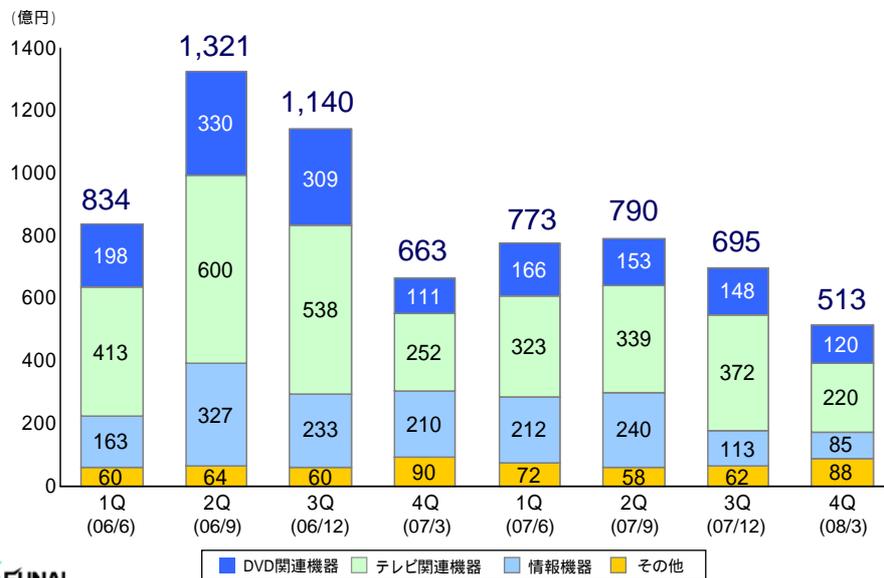
- 1 第4四半期(1-3月)決算概要
- 2 機器別売上高の推移(決算期統一ベース)

## 1 第4四半期(1-3月) 決算概要

(単位:億円)

	前第4四半期	前第4四半期 (決算期統一)	当第4四半期	前年同期比 (決算期統一) 増減率
	金額	金額	金額	
<b>売上高</b>	1,137	663	513	22.6%
<b>営業利益</b>	16	24	36	- %
営業利益率	(1.5%)	( 3.6%)	( 7.0%)	
<b>経常利益</b>	33	7	58	- %
経常利益率	(2.9%)	( 1.1%)	( 11.3%)	
<b>四半期純利益</b>	195	211	23	- %
四半期純利益率	( 17.2%)	( 31.8%)	( 4.5%)	

## 2 機器別売上高の推移 (決算期統一ベース)



25

## 注意事項

本資料は、歴史的事実ではない将来の業績に関する予想及び見通しについての記載が含まれています。これらの記載は、映像機器及び情報機器をはじめとする当社及び当社グループ会社の事業に関連する業界動向、国内外の経済状況並びに為替レートの変動その他の業績に影響を与える可能性のある要因について、現時点で把握可能な情報をもとにした仮定及び見通しを前提としています。したがって、実際の業績は、エレクトロニクス業界における競争状況、市場動向、為替動向、新製品の導入及びその成否、税制や諸制度に関する世界的な状況を含む多くの不確実な要因の影響を受け、本記載の予想及び見通しとは大きく異なる場合がありますのでご承知おきください。

26

